



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

令和7年12月3日

市長記者会見資料

川崎市（経済労働局）

## 令和7年度「かわさきマイスター」を認定しました

「かわさきマイスター」に、今年度15名（1名辞退）の応募があり、かわさきマイスター選考委員会での審議の結果を踏まえ、新たに5名を認定し、本日認定証授与式を行いました。

「かわさきマイスター」は、極めて優れた技術・技能で本市産業の発展や市民の生活の向上に御尽力いただくとともに、後継者や若手の指導にも熱心な現役の職人の方々に市内最高峰の匠として贈る称号です。本事業は平成9年度から開始しており、今年度認定者の方々を加え、これまでに86職種134名の方々を認定しています。

\* マイスターとは、ドイツ語で「名人」「親方」を意味します。

### 1 令和7年度かわさきマイスター認定者

(1) 伊波 晃 氏 (型枠大工)

(2) 高島 誠 氏 (溶接工)

(3) 長谷川 功 氏 (産業洗浄技能士)

(4) 福田 耕八 氏 (弦楽弓製作)

(5) 篠輪 佳伸 氏 (平面研磨加工)

### 2 配付資料

(1) 令和7年度かわさきマイスター認定者 資料1

(2) 令和7年度かわさきマイスター認定者技能紹介 資料2

問合せ先

川崎市経済労働局 労働雇用部 一ノ瀬

電話 044-200-2278

## 令和 7 年度かわさきマイスター認定者

氏名	年齢	職種	従事年数	勤務先
いは あきら 伊波 晃	61	型枠大工	36	株式会社雪平工務店 (中原区)
たかしま まこと 高島 誠	50	溶接工	25	株式会社西井工業所 (川崎区)
はせがわ いさお 長谷川 功	52	産業洗浄技能士	33	フジクス株式会社 (川崎区)
ふくだ こうはち 福田 耕八	66	弦楽弓製作	43	福田弦楽弓製作所 (多摩区)
みのわ よしのぶ 箕輪 佳伸	59	平面研磨加工	41	角丸金属有限会社 (川崎区)

※ 年齢及び従事年数は令和 7 年 1 月 3 日時点を基準としています。

伊波 晃（いは あきら）さん

- (1) 年 齢：61歳
- (2) 職 種：型枠大工
- (3) 従事年数：36年
- (4) 勤務先：株式会社 雪平工務店
- 住 所：中原区宮内4-4-3
- 電 話：044-751-7171



伊波さんは型枠大工として最大30人の部下をまとめ上げ、市内外の数多くの建築工事現場で活躍しており、川崎市役所新本庁舎の復元棟新築工事にも型枠工事を取り仕切る職長として携わりました。

型枠大工は、鉄筋コンクリート造（RC造）の建物を建築する際、コンクリート構造物を設計通りの形状に構築するための枠を作る仕事です。それとともに、コンクリートを打設する際、重みで型枠が崩れたり曲がったりしないように型枠を支持する仮設構造物（支保工）を構築するのも重要な役割となります。正確な型枠と堅牢な支保工を組み立てることは、建物の見た目上の仕上がりを良くするだけではなく、耐震性などに優れた建物を建てるために不可欠な仕事です。

建物の意匠や仕上げの方法は様々ですが、意匠にこだわった建物や高い寸法精度が求められる施工には熟達した技能が必要になります。さらに、建築工事現場の作業条件は一様ではなく、建物が密集する都会の工事現場では、教科書通りの支保工が組めない場合もあります。伊波さんはこのような場合でも、熟達した技能と豊富な経験に裏打ちされた創意工夫で正確で堅牢な型枠を組み立て、品質の高いコンクリート構造物の建造に大切な役割を果たしています。型枠と支保工は仮設物であり、建物が竣工した後は目にはすることはありませんが、良質な型枠の施工が街の景観、ひいては私たちの快適で安全な生活を支えています。

伊波さんは20歳代から型枠大工の道に入り、様々な現場での経験を積み、腕を磨いた後、現勤務先の雪平工務店に入社しました。型枠を専門とする同社においても数人しかいない型枠施工技能士1級を有する技能者であり、現在は職長として多くの型枠大工をまとめています。自分自身の技能を発揮するだけではなく自分の技能を若手技能者に伝える立場にあり、近年は外国人の技能実習生の育成にも努めています。多くの若手技能者や技能実習生が伊波さんを慕い、彼の下で技能の向上に励んでいることからも、部下想いの伊波さん的人柄を窺うことができ、優れた技能や指導力、誠実な人柄を兼ね備えた技能者です。



本庁舎復元棟



作業の様子

## 令和7年度かわさきマイスター認定者技能紹介

高島 誠（たかしま まこと）さん

（1）年 齢：50歳  
（2）職 種：溶接工  
（3）従事年数：25年  
（4）勤務先：株式会社西井工業所  
住所：川崎区大川町11-10  
電話：044-201-6420



高島さんは溶接を専門とする技能職者です。特に、TIG（ティグ）溶接と呼ばれる高い精度や美しい仕上がりを得られる溶接方法を得意とし、下方だけではなく真横や頭上など全方位での溶接が可能となる専門級としての資格を有しています。

TIG溶接のメリットとしては、様々な金属の溶接ができ、騒音が小さく飛び火が出ないことが挙げられます。また、仕上がりが美しく気密性や水密性に優れており、ビードと呼ばれる溶接した部分にできるうろこ状の盛り上がりが美しいほど、その機能性は高まりますが、高島さんはこの仕上がりの美しさと機能性において卓越しています。

西井工業所が専門とする配管の溶接は、足元や高い位置など様々な高さや角度で溶接を行う必要があります。長時間同じ姿勢での施工を余儀なくされるなど、難しい条件で施工しなければならない場合も少なくありません。特に、配管が壁際にあって施工箇所が目視出来ない時などは、鏡に映しつつ左右反転のまま施工を行うなど、困難な状況でも長年の経験や技能により柔軟に対応しています。また、機材においても、電圧やコードの長さ、当日の気温や湿度などによって出力に微妙な差が出るため、高島さんはそれらを勘案した上で、毎回異なる条件においても精度の高い施工を実現しています。

高島さんは、「溶接は手の感覚が最も大事であり、その感覚は一人ひとり違うものだから自分で磨いていくしかない。自分は溶接が好きだから頑張れた」と述べるように、基本を学んだ後は様々な現場での施工の中で自身の手の感覚を磨き、並々ならぬ情熱によって溶接一筋にその技能を発展させてきました。

溶接の業界でも一定の加工を長時間行うことができるような機械化は進んでいるものの、修正があった場合に即座に対応がきかないなどの難点もあります。高島さんも「最後はやっぱり人だと言われるように頑張りたい」と述べており、これからも情熱をもって技能を磨いていくとともに、後進の育成にも取り組んでいくなど、業界を発展させていくことが期待される技能者です。



溶接の跡（ビード）



TIG（ティグ）溶接の様子



## 令和7年度かわさきマイスター認定者技能紹介

長谷川 功（はせがわ いさお）さん

- (1) 年 齢：52歳
  - (2) 職 種：産業洗浄技能士
  - (3) 従事年数：33年
  - (4) 勤務先：フジクス株式会社
- 住所：川崎区貝塚1-8-2  
電話：044-245-0761



「産業洗浄技能士」とは、産業設備や公共施設の洗浄・メンテナンスを安全かつ効率的に行う国家資格です。

長谷川さんが勤務するフジクス株式会社は、極めて高圧の水流を使って建物の配管や機械設備の洗浄、プラントやインフラの補修に伴う剥離工事などを手掛けています。同社において長谷川さんは平成4年に入社してから、高圧水による工場内洗浄やコンクリートはつり等の様々な現場を経験し、平成19年からは住宅排水管の洗浄に従事しています。

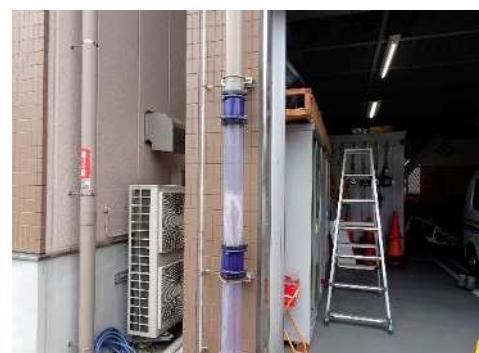
フジクスは、高圧水流による洗浄において、「振り分け技法」という独自の技法で共同住宅の排水管洗浄を行っています。一般的には共同住宅の専用部や上層階から共用横引き管などに向かって管内を洗浄するため、剥離した汚れが下の方に詰まることがあります。この技法では敷地内マンホール等から上層階に向かって排水管共用部を洗浄します。洗浄ホースの先端のノズルから後方に高圧水を噴射し、推進力を得ながら剥離した汚れを流し、さらに複雑に分岐した排水管の隅々まで洗浄ノズルを到達させ、余すところなく管内をきれいにすることができます。

ただ、振り分け技法を効果的に機能させるには高度な技能が必要になります。排水管は壁や床下に配置されることが多く、管内も目に見えませんが、隅々まで洗浄するにはノズルの現在地・分岐の箇所・進行方向を適切に判断してコントロール必要があります。長谷川さんは音や手の感触、流れ出る汚れの色やにおいなどを頼り現在地を把握し、分岐箇所においても進行方向を定めてノズルをコントロールして目標の排水管までホースを伸ばして洗浄しています。この振り分け技法によって磨かれた技能によって、フジクスが標榜する排水管の「完全洗浄」が可能になっています。

現在、長谷川さんは生活設備事業本部の第二事業総括部長を務め洗浄部門を切り盛りしています。若手社員の育成にも努め、フジクスが独自に設ける社内検定制度の審査員や、同社の技能向上委員会の委員長を務め、技能検定取得などのために熱心に指導しています。今も現場に出向き類まれな技能を発揮するとともに、それを惜しみなく後進に伝える優れた技能者です。



配管洗浄の様子



ホースが配管内を進む様子

## 令和7年度かわさきマイスター認定者技能紹介

福田 耕八（ふくだ こうはち）さん

- (1) 年 齢：66歳
  - (2) 職 種：弦楽弓製作
  - (3) 従事年数：43年
  - (4) 勤務先：福田弦楽弓製作所
- 住 所：多摩区東生田4-11-6  
電 話：044-977-2385



福田さんは、親子2代で続くヴァイオリンなどの弦楽器の弓を専門にした製作者です。父の福田和人さんは、日本における弦楽弓製作の草分け的存在であり、本人も幼少期から弓の製作に親しむとともに、音楽的な感性を育みました。

大学卒業後は、本格的に亡父のもとで弓の製作・修理を学んだ後、修行のためヨーロッパに渡って経験を積みました。イタリアのクレモナではヴァイオリン本体の製作を学ぶとともに、フランスでは世界的に著名な弓の鑑定者・製作者であるジャン・フランソワ・ラファン氏の初代弟子として彼の工房で研鑽を積み、フランスの伝統的な弓の製作・修理技法をも習得しています。

福田さんが製作する弓は、楽器屋などには卸しておらず、個人の演奏家から依頼を受けて、実際に演奏してもらった上で、一人ひとりに適した弓を製作する受注生産となっています。これは、修理自体はヴァイオリン本体も行うなど、弓のみならず弦楽器そのものへの深い理解と、演奏家の腕を把握できるだけの音楽的な感性の両方を持ち合わせている福田さんならではの製作方法です。

弓の毛にはモンゴル産などの馬の尻尾の毛が用いられますが、それ以上に大切な弓本体の素材には、ペルナンブーコという主にブラジルの熱帯雨林に生えているマメ科の植物を使用しています。福田さんは、この強く柔軟性もある材料を、伝統的なフランス製の鉋（かんな）を用いて弓の形状を作り上げ、その弓は時に楽器本体に匹敵する価格となりえます。

現在は、川崎市のフランチャイズオーケストラ、「東京交響楽団」の団員を始めとした演奏家からも多く依頼を受けるなど、国内でも数少ない弓の専門家として多くの音楽家から信頼を得ています。

また、木の材質や水分量の経年変化があるため、楽器や楽弓がその真価を發揮し豊かな音を鳴らすのは、完成して数十年・数百年を経た後だとも言われています。福田さんは、製作直後ではなく、音色が変化する50年・100年後に評価されるような弓を目指して、現在の楽弓作りに励んでいます。

豊かな音楽的な感性を併せ持つ福田さんは、自身の子供たちもプロの音楽家に育てるなど、「ものづくりのまち・かわさき」と「音楽のまち・かわさき」の両方を支える、類まれな技能者です。



弓の反りを確認する様子



製作中の弦楽器・弦楽弓  
及び修理した楽器

## 令和7年度かわさきマイスター認定者技能紹介

箕輪 佳伸（みのわ よしのぶ）さん

- (1) 年 齢：59歳
  - (2) 職 種：平面研磨加工
  - (3) 従事年数：41年
  - (4) 勤務先：角丸金属有限会社
- 住 所：川崎区大川町11-11  
電 話：044-355-2591



箕輪さんは、超硬合金の精密加工を得意とする角丸金属有限会社にて工場長を担っており、超硬合金を用いたブレードという刃や超極細ピンなどの工具の製作を行っています。同社では、かわさきマイスターにも認定された竹内三郎現会長の指導のもと、技術・技能を磨いて指導的立場に成長しました。

箕輪さんが手掛ける様々な加工品の中でも、自動車製造用機械の精密部品においては、超硬合金を±1ミクロンの公差で仕上げるような極めて精密な加工が求められます。当日の気温や湿度によって機械や素材の膨張などの影響が生じますが、それらを加味した上で、自身の経験により切削量や加工部品送りのスピード等を微調整し、工場内及び納品先と同環境に設定された検査室内においても公差精度を維持すべく、誤差の小さい部品の安定した製造を実現しています。

また、金属同士を接着するための銀ロウ付けにも優れた技能を発揮しています。寸分の誤差なく剥離しないように超硬合金を接着するには高度な技能が必要であり、箕輪さんがロウ付けを行い、加工した製品は、手に取って見ただけではどの部分がロウ付けされているのか分からぬほどです。

現在、箕輪さんは工場長として現場の作業員をまとめる立場でもあり、自身で加工をする傍ら、全体の工程管理や後進の指導・育成などに取り組んでいます。また、製品加工の際に加工物を固定するための治具の製作は、少ない人数で効率的に加工を行う同社においては必須となっており、加工工程を考慮しつつ治具製作を行い、会社全体としての生産性の向上にも寄与しています。

また、技能の振興や地域貢献にも積極的に取り組んでおり、同社では18年間にわたって地元の小学生の社会科見学を受け入れていますが、箕輪さんはその現場担当として子供たちに丁寧に自身の仕事などについて教えています。今後もマイスターの活動を通じて子供たちへものづくりの楽しさや必要性を広めていきたいという思いを抱いており、自身としてもミクロンレベルでの加工を実現しつつ、技能振興や後継者育成などにも旺盛な意欲を持っている優れた技能者です。



フライス加工の様子



ロウ付けの様子



平面研磨の様子